



プレミアグループ株式会社 **東証プライム 7199**

# 2026年3月期 第2四半期 決算説明資料

2025年11月14日



- 01 決算ハイライト
- 02 決算概要
- 03 ファイナンス事業
- 04 故障保証事業
- 05 オートモビリティサービス事業
- 06 カープレミアクラブ
- 07 その他進捗
- 08 Appendix



01 決算ハイライト

02 決算概要

03 ファイナンス事業

04 故障保証事業

05 オートモビリティサービス事業

06 カープレミアクラブ

07 その他進捗

08 Appendix

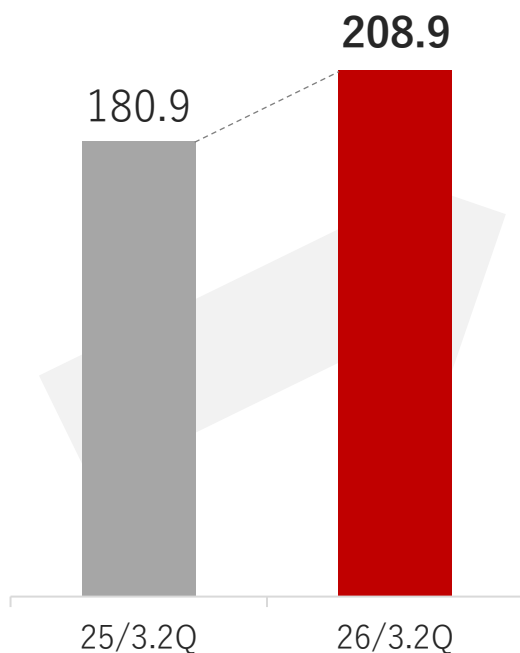
- 新旧システム並行稼働に伴う費用増加により、営業利益及び税引前利益は前年比マイナスであるも、概ね業績予想通り
- 旧システムへの完全切り戻しに伴い、システム対応費用は第3四半期以降大幅に減少する見込み
- ファイナンス事業はシステム対応の一過性の影響があるも、故障保証事業及びオートモビリティサービス事業は好調に推移

## 業績

(グラフ単位：億円)

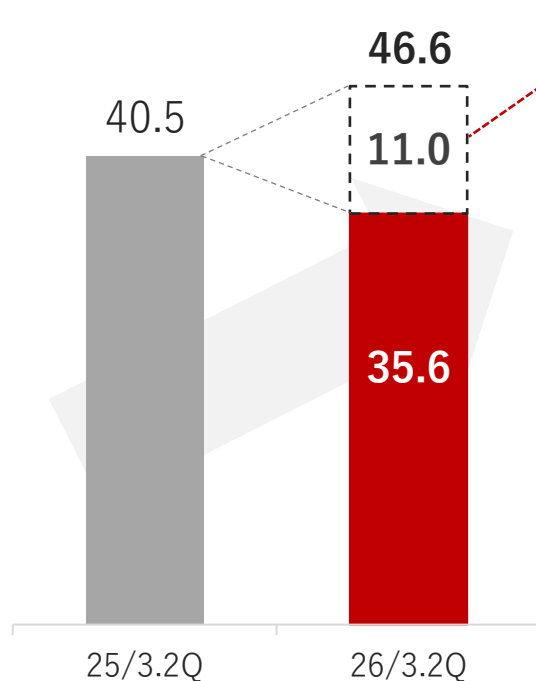
### 営業収益

前年比  
**+15.5%**



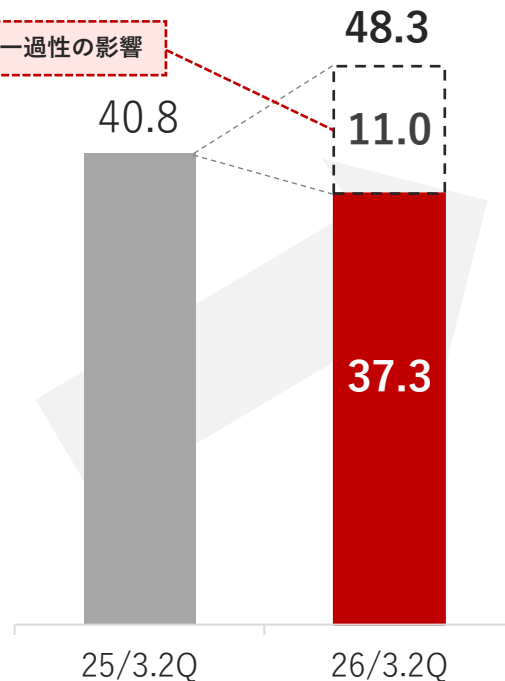
### 営業利益

前年比 一過性の影響を除く  
**▲12.2%** (+15.0%)



### 税引前利益

前年比 一過性の影響を除く  
**▲8.5%** (+18.5%)



## 将来収益 (繰延収益)

### 全体

**657**億円  
前年比 +12.1%

### ファイナンス

**560**億円  
前年比 +11.6%

### 故障保証

**88**億円  
前年比 +13.9%

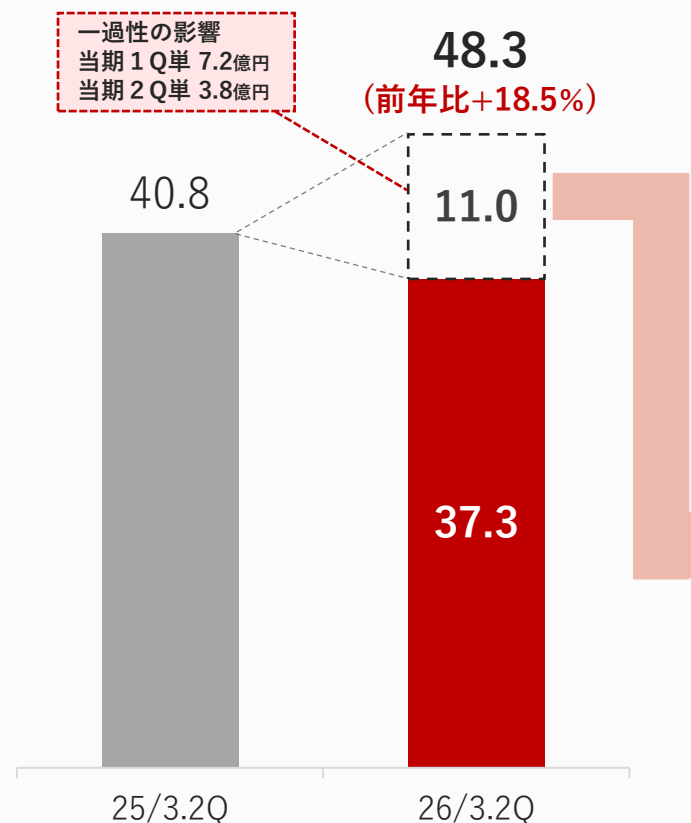
### ソフトウェア事業・ カープレミアクラブ会費

**9**億円  
前年比 +26.1%

- システム障害に伴う第2四半期までの**税引前利益**への**影響額は▲11.0億円**
- 貸倒引当金の戻入**は通期目標7.1億円に対し6.4億円と、**債権正常化に向け、計画以上の進捗**
- 基幹システム更改に関して起用した外部ベンダーへは、**損害賠償請求を実施**（※詳細は後述）

## 26/3.2Q 税引前利益(一過性の影響除く)

(グラフ単位：億円)



## システム障害による影響額

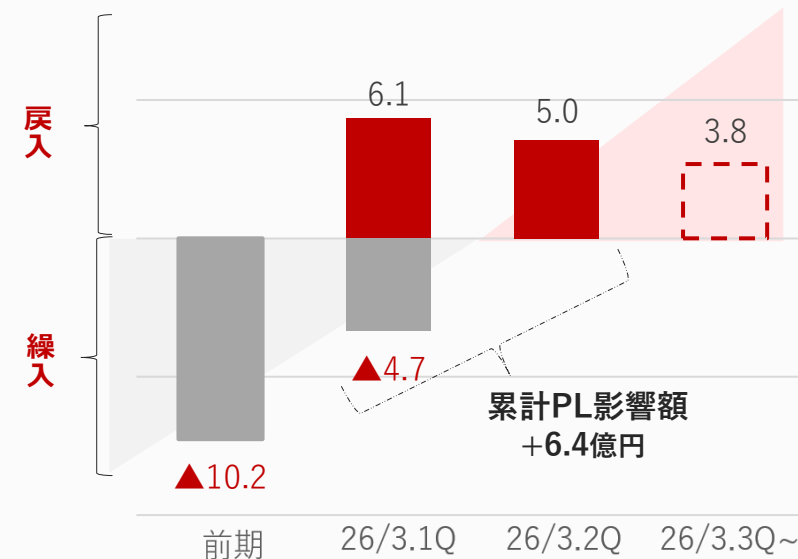
(単位：億円)

システム障害に伴う対応費用	26/3通期 (目標)	26/3.2Q (実績)
システム対応費用	16.6	13.5
外部委託費用	2.6	1.2
諸費用売上の放棄※1	—	2.7
貸倒引当金※2	▲7.1	▲6.4
<b>合計(税引前利益への影響額)</b>	<b>12.1</b>	<b>11.0</b>

✓ 計画外の諸費用売上の放棄及びシステム対応費用の超過を見込むも、貸倒引当金の戻入・本業の収益にてカバー可能な見込み

## 貸倒引当金(システム影響)推移

(グラフ単位：億円)



✓ 貸倒引当金の戻入は2Q累計で6.4億円  
 ✓ 前期計上分(▲10.2億円)の全額戻入を目指し、当期中の貸倒引当金の戻入額を10.2億円へ計画修正

(注) システム障害による前期の影響の詳細につきましては、2025年3月期開示の決算説明資料P.5をご参照ください。  
 (※) 1. お客様に請求差し上げる各種手数料のうち、システム不具合の要因によって発生し、当社の負担としたものになります。  
 2026年3月期 第1四半期においては、当該費用の金額が僅少であったため、外部委託費用と合算して「外部委託費用等」として記載しております。  
 2. 本ページに記載の貸倒引当金の金額は、システム障害の影響で発生した金額のみを抽出しており、財務会計上の科目と一致いたしません。

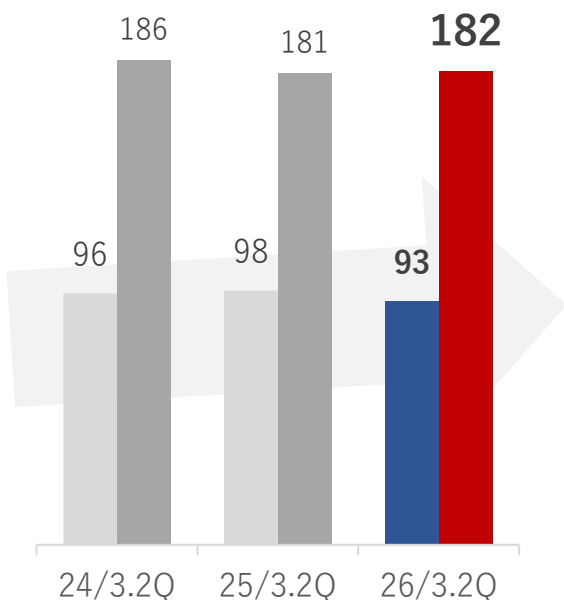
- 新車販売台数、中古車登録台数ともに前年比は僅かな増加
- クレジット取扱高は、旧システムへの完全切り戻し時の新規受付停止、債権回収業務の強化に伴う営業リソースの低下、粗利益の確保を優先した影響により、一時的に伸び率が低下するも、通期では成長トレンドへ

## マーケット※

(グラフ単位：万台)

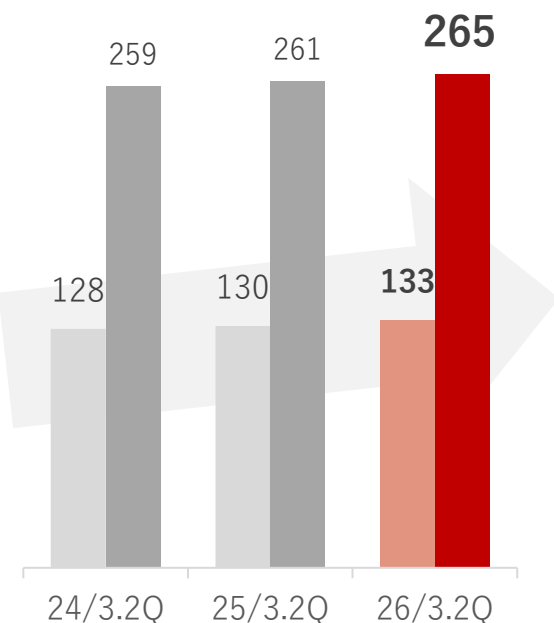
### 新車販売台数

単Q 前年比 累計  
▲4.4% +0.6%



### 中古車登録台数

単Q 前年比 累計  
+2.4% +1.5%

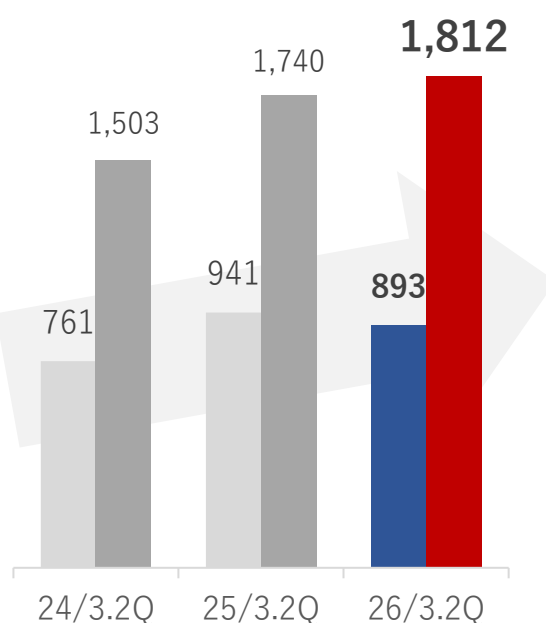


## KPI

(グラフ単位：億円)

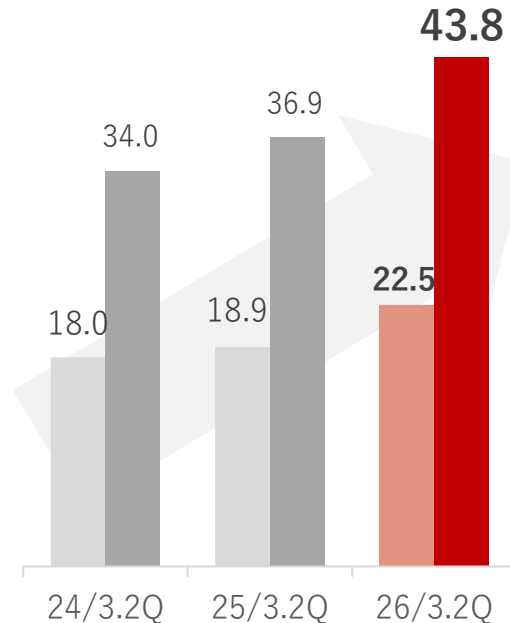
### クレジット取扱高

単Q 前年比 累計  
▲5.1% +4.1%



### 故障保証取扱高

単Q 前年比 累計  
+19.4% +18.7%





01 決算ハイライト

**02 決算概要**

03 ファイナンス事業

04 故障保証事業

05 オートモビリティサービス事業

06 カープレミアクラブ

07 その他進捗

08 Appendix

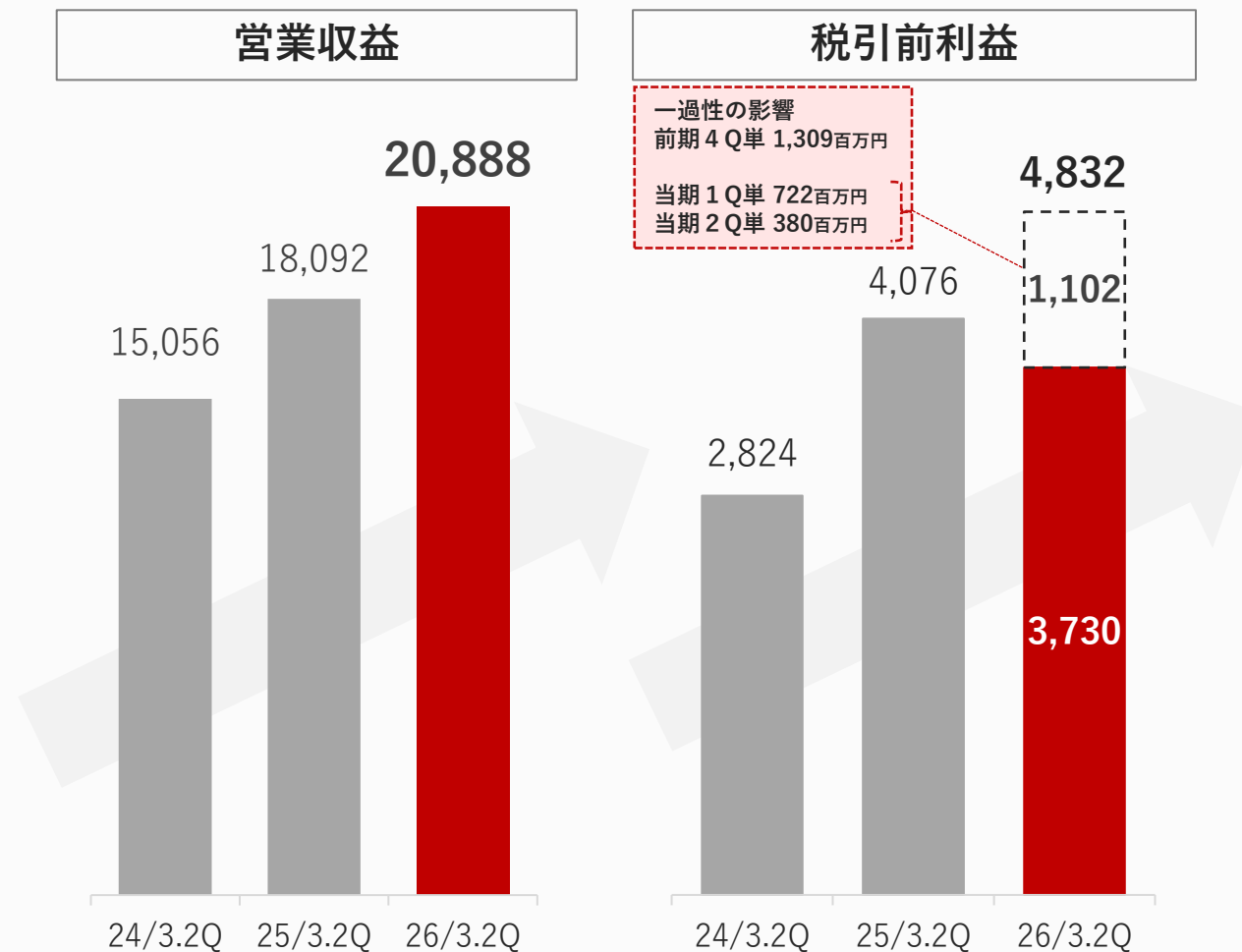
# 連結業績

(単位：百万円)



- 営業収益、営業利益、税引前利益は概ね**計画通り**に進捗
- **営業費用**の伸び率は抑制傾向（1Q：27.1%⇒2Q：23.4%）。**第3四半期以降**はさらに**減少**する見込み
- **一過性の影響**については、**減少トレンド**で推移（前期4Q単13.1億円⇒当期1Q単7.2億円⇒当期2Q単3.8億円）

	25/3.2Q	26/3.2Q	前年比
営業収益	18,092	20,888	+15.5%
営業費用	14,042	17,331	+23.4%
営業利益	4,050	3,556	▲12.2%
税引前利益	4,076	3,730	▲8.5%
税引前利益 [一過性の影響を除く]	[4,076]	[4,832]	[+18.5%]
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,771	2,589	▲6.6%
基本的1株当たり 当期利益（円）	73.09	67.75	▲7.3%





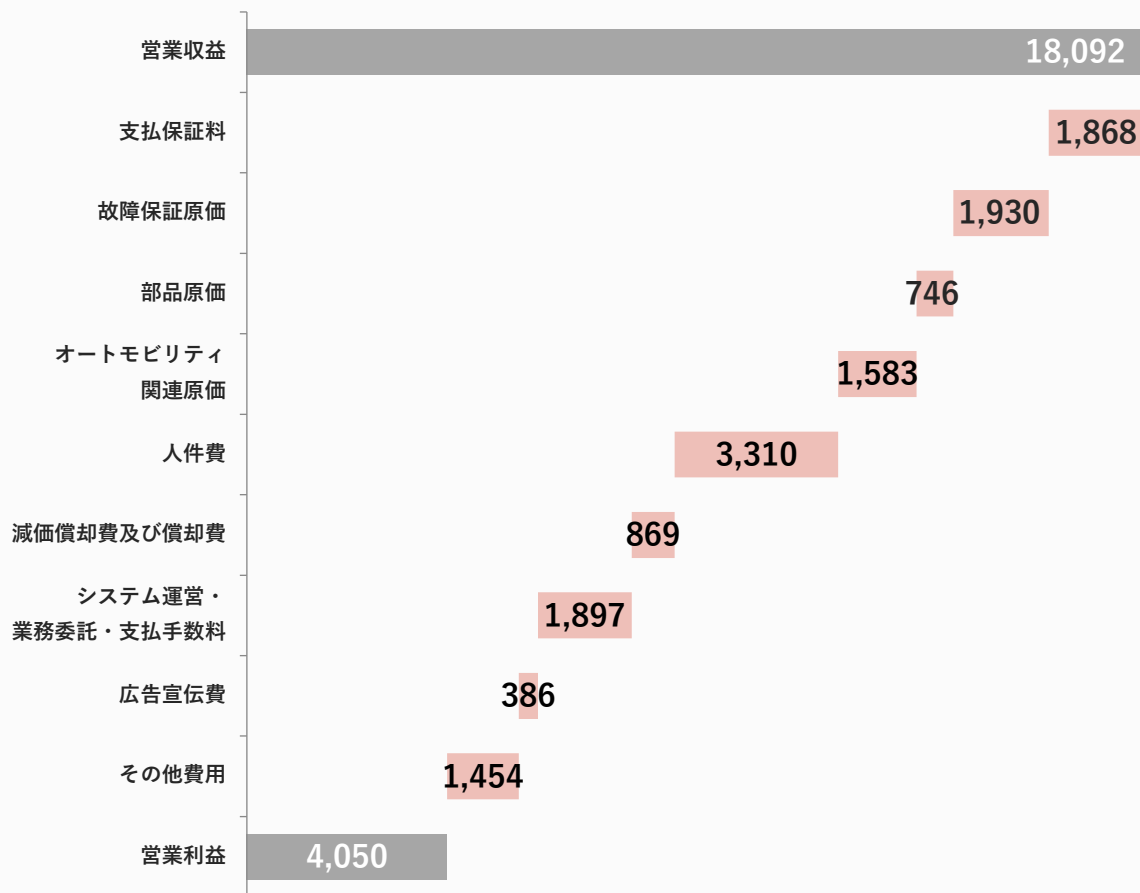
# 営業費用（内訳）の推移

（単位：百万円）

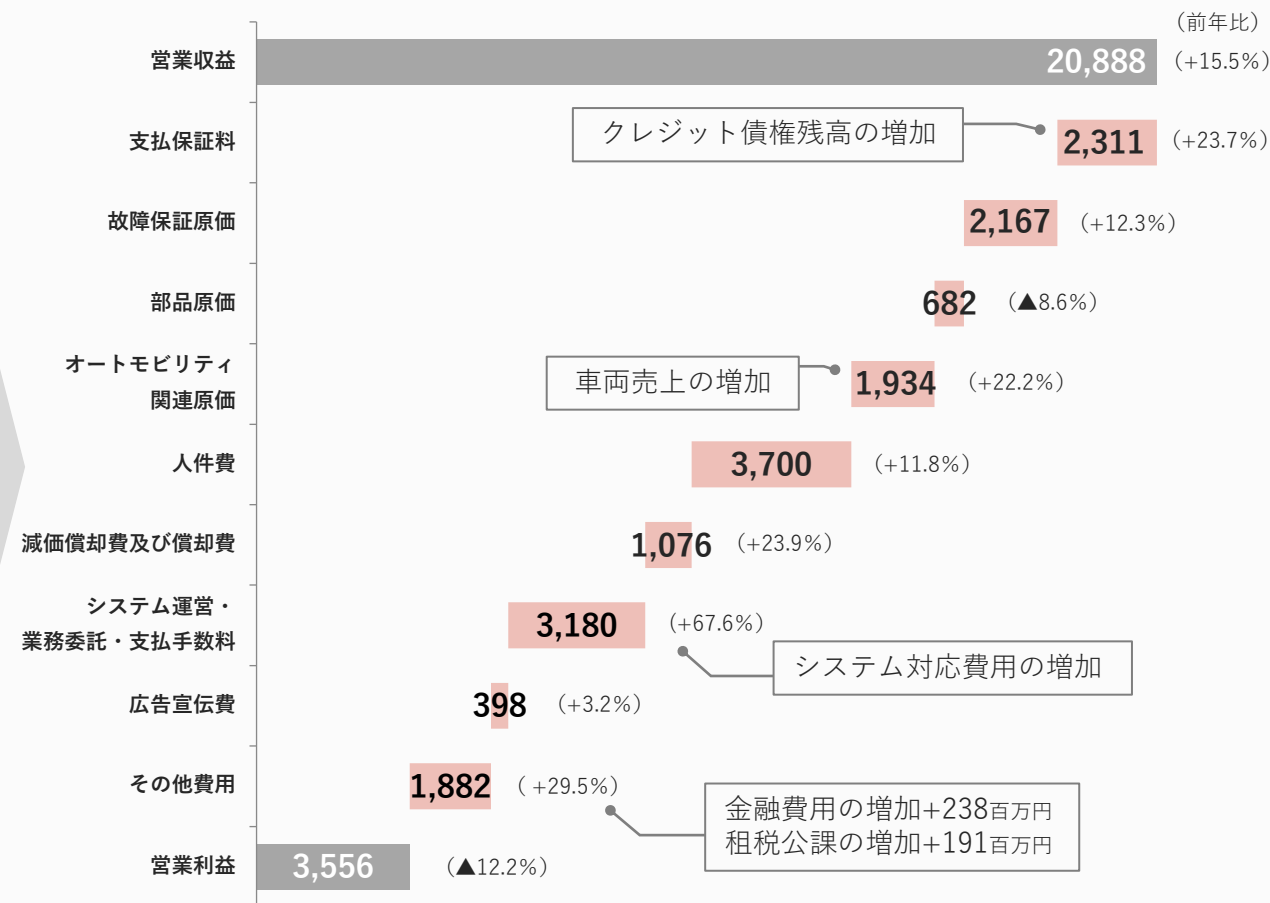


- システム対応費用等を除いた場合の**営業費用**は前年比**+13.0%**の159億円と、**費用効率化**の取り組みは**継続**

25/3.2Q 営業費用  
14,042百万円



26/3.2Q 営業費用  
17,331百万円（前年比 +23.4%）



（注）2025年3月期の通期決算説明資料に記載していた「金融資産の減損損失」の項目は、2025年及び2026年3月期 第2四半期に発生がないため、本資料では記載を省略しております。

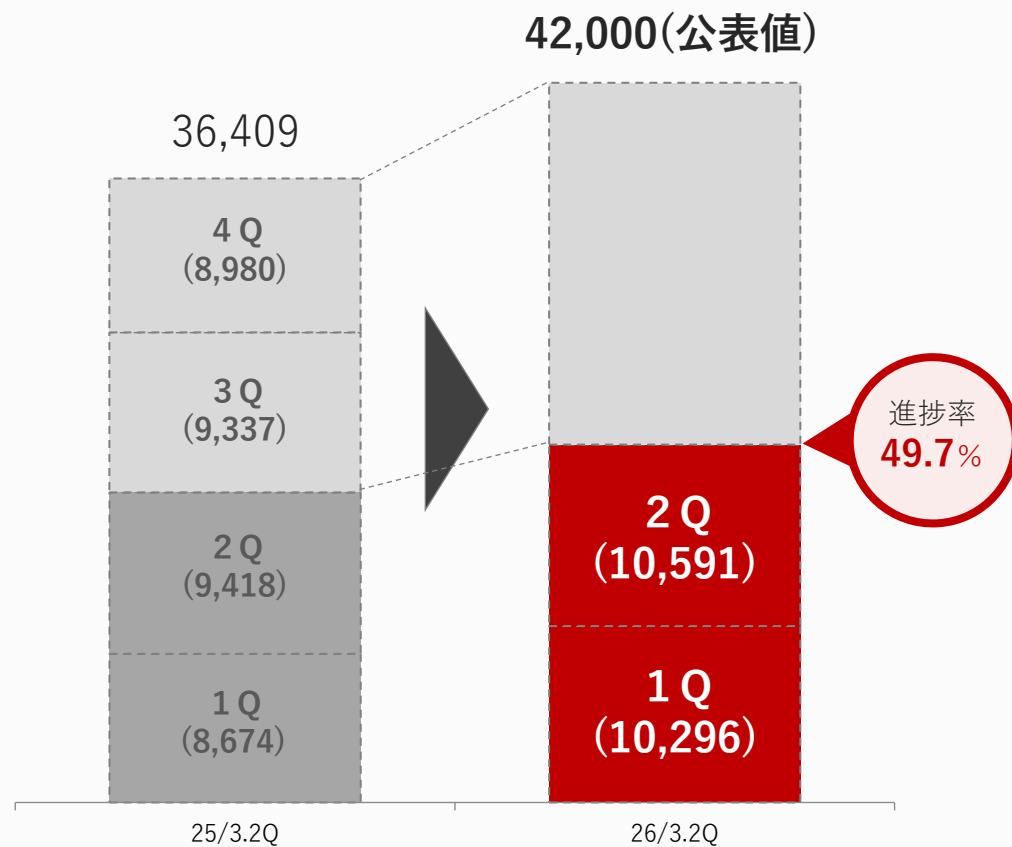
# 通期業績見通し

(単位：百万円)

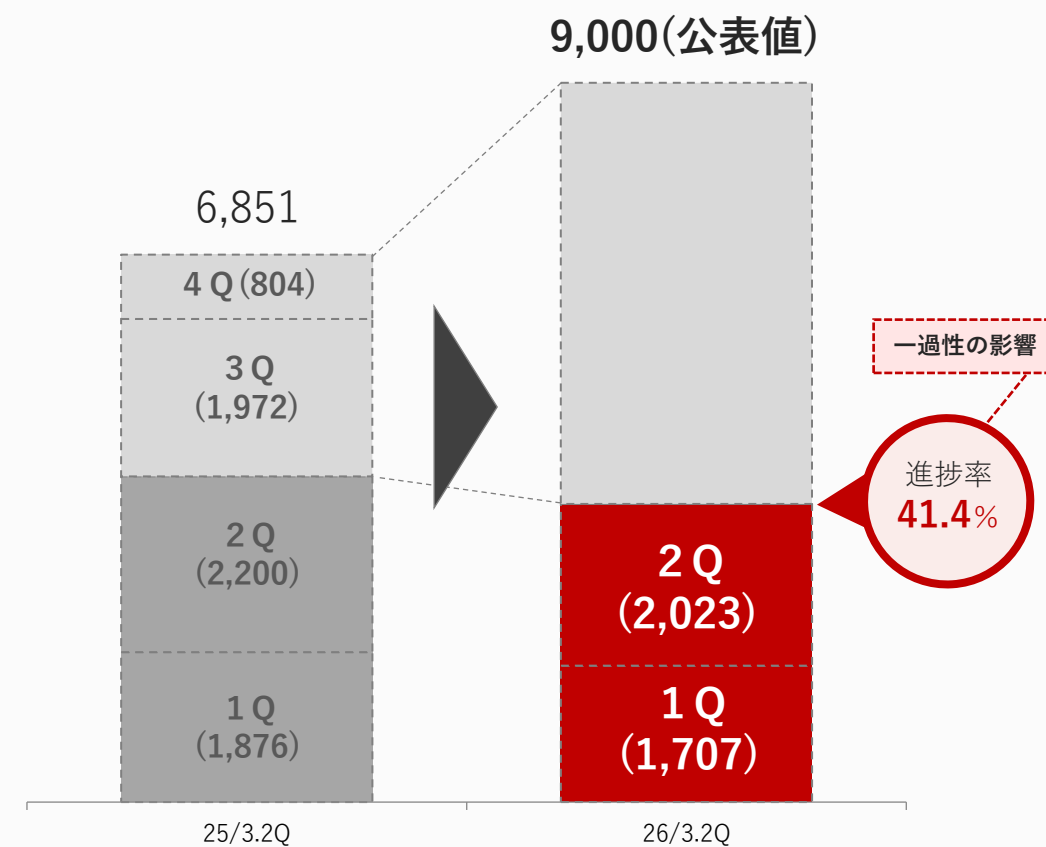


- システム対応費用は上期に集中的に発生。一時的に税引前利益の進捗率は前年比で鈍化するも、**第3四半期以降に回復し、通期では概ね計画通り**進捗する見込み
- システム対応費用の超過額は、貸倒引当金の戻入と本業の収益力により十分カバー可能な見込み

## 営業収益



## 税引前利益





01 決算ハイライト

02 決算概要

**03 ファイナンス事業**

04 故障保証事業

05 オートモビリティサービス事業

06 カープレミアクラブ

07 その他進捗

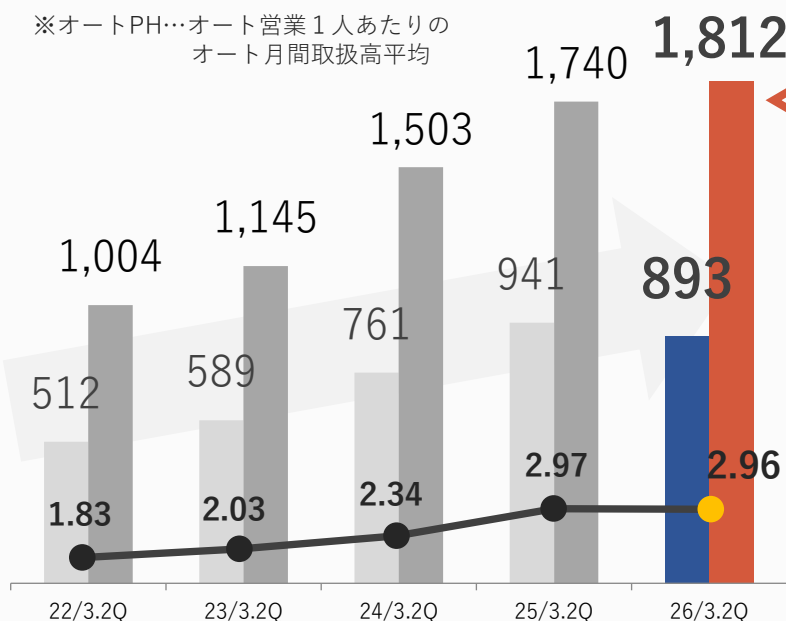
08 Appendix

- 旧システムへの切り戻し時の**新規受付停止**、**債権回収の優先対応**、**粗利益の確保を優先**した影響により、取扱高の成長は一時的に伸び率が低下するも、**通期では成長トレンド**へ
- 延滞債権は、**初期延滞債権**（3ヵ月以下）へのアプローチを優先的に実施し、**概ね正常化**。  
**第3四半期以降**は、4ヵ月以上の延滞債権の回収に注力し、**延滞債権残高率の縮小**を図る

## クレジット取扱高

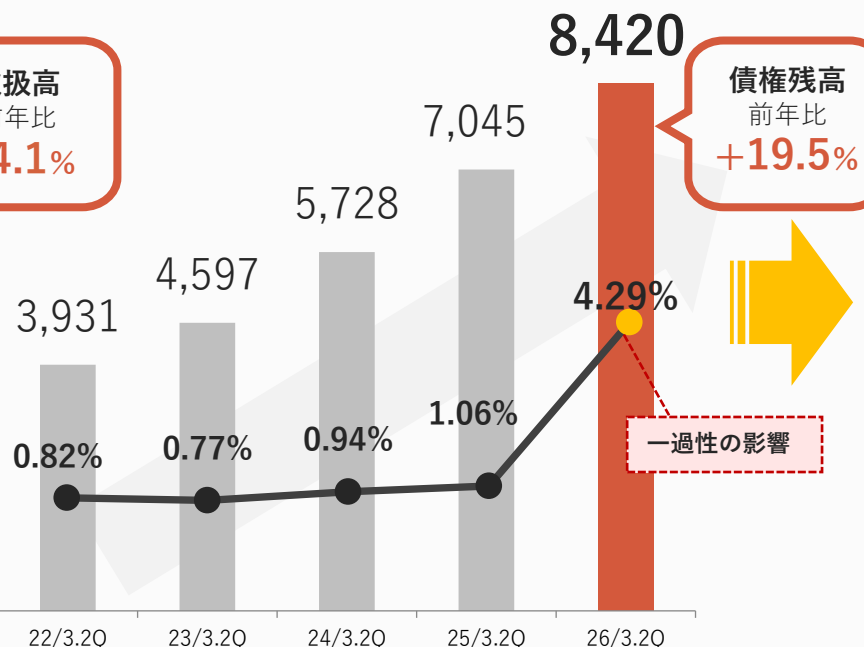
2Qのみクレジット取扱高  
2Q累計クレジット取扱高  
2QのみオートPH

※オートPH…オート営業1人あたりの  
オート月間取扱高平均

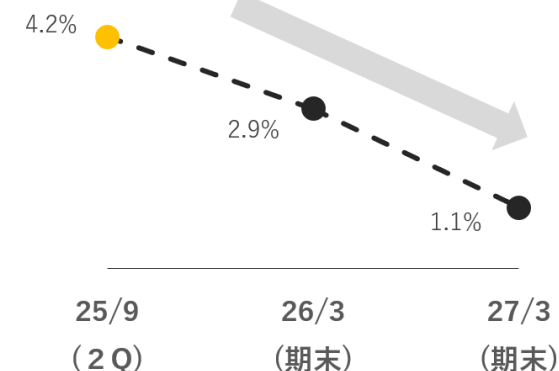


## クレジット債権残高

2Qクレジット債権残高  
2Q延滞債権残高率



## 延滞債権残高率の推移 (イメージ)



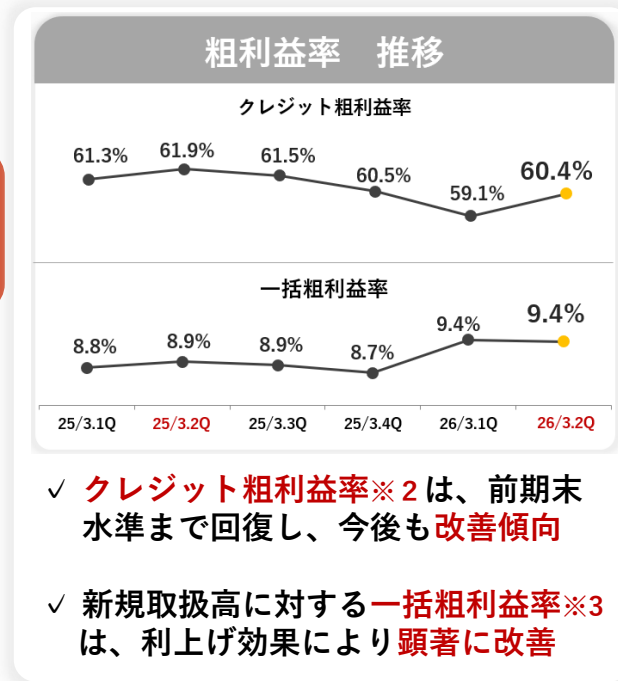
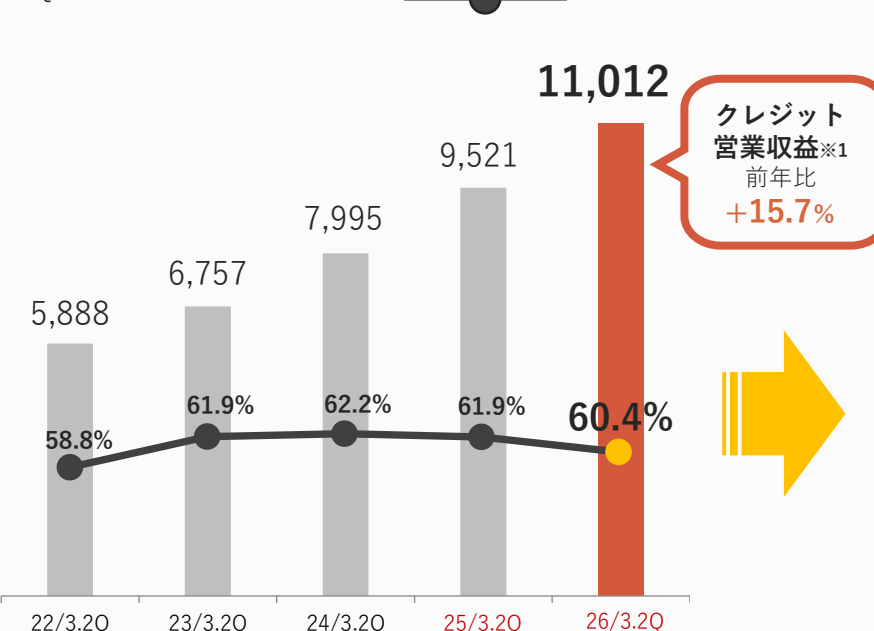
- ✓ 延滞債権残高率の正常化には時間を要するものの、正常化の道筋を確保
- ✓ 保険金請求ポジションには至らず、保険料への影響はなし

(注) 1. クレジット取扱高とは、その期間で新たに締結したクレジット契約及びリース保証契約金額の総額です。オートクレジット以外の商品（エコロジークレジット等）の取扱高も含めた値であり、プレミア(株)の実績です。  
2. クレジット債権残高とは、開業から期末までの累計取扱高のうち、当該時点において返済されていない又は保証期間が経過していないクレジット契約金額及びリース保証契約金額の総額をいいます。オートクレジット以外の商品（エコロジークレジット等）の債権残高も含めた値であり、プレミア(株)の実績です。  
3. 延滞債権残高率とは、当該期末時点のクレジット及びリース債権残高に対し、延滞月数が3ヵ月を超える債権及び特別債権（司法介入債権）の合計額が占める割合をいいます。

- ・ 一時的に取扱高の伸び率が低下するも、営業収益は**2桁成長**を維持し、成長を継続
- ・ システム障害を起因とする延滞債権の増加の影響により、収益計上時期に▲2.8億円のずれが発生。時期ずれとなった2.8億円については、延滞債権の解消に伴い、順次収益として計上見込み
- ・ **利上げ効果**により、新規取扱高に対する**一括粗利益率**は顕著に**改善**

	25/3.2Q	26/3.2Q	前年比
営業収益	10,245	11,787	+15.0%
営業利益	3,020	1,998	▲33.9%
税引前利益	3,011	1,967	▲34.7%
税引前利益 [一過性の影響を除く]	[3,011]	[3,068]	[+1.9%]

2Q累計クレジット営業収益  
2Q累計クレジット粗利益率



- ✓ **クレジット粗利益率※2**は、前期末水準まで回復し、今後も**改善傾向**
- ✓ 新規取扱高に対する**一括粗利益率※3**は、利上げ効果により**顕著に改善**

## 利益低下の要因

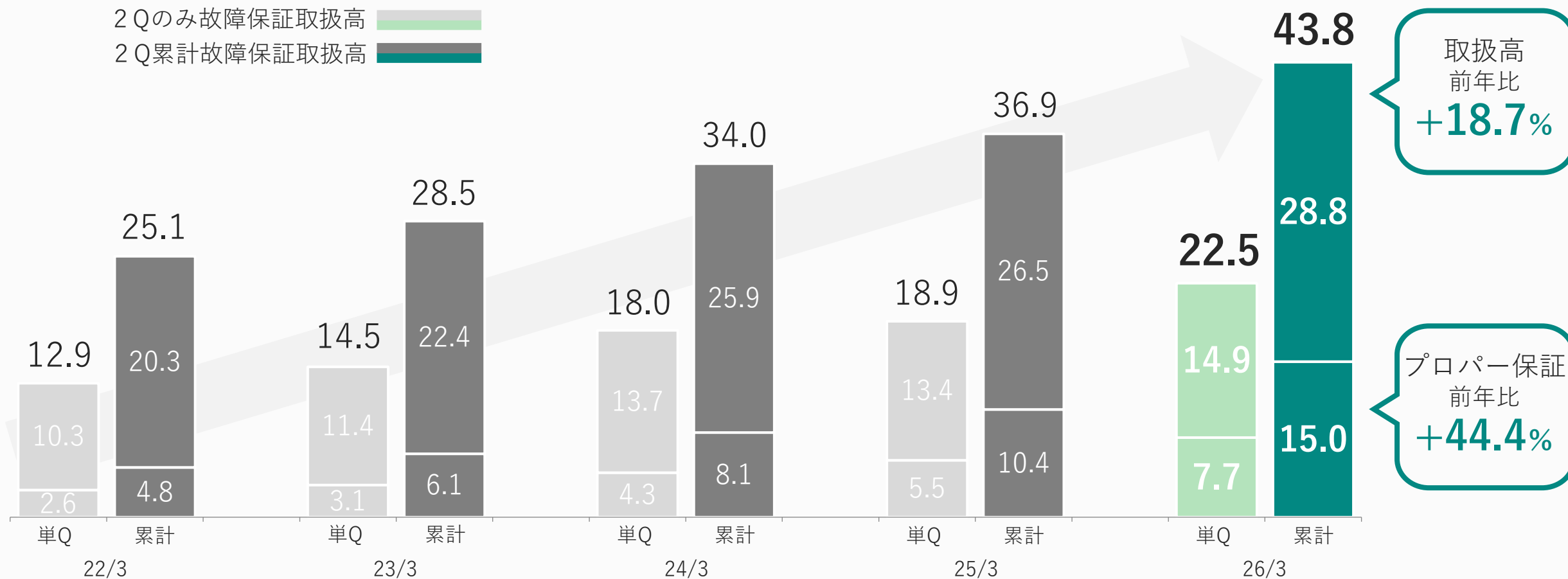
- ・ 収益計上の時期ずれ▲2.8億円
- ・ 当該影響を考慮した場合、税引前利益3,347百万円（前年比+11.1%）

(※) 1. クレジットにかかる営業収益を集計しております。  
 2. クレジットにかかる営業利益を、クレジットにかかる営業収益で除した実績です。  
 なお、当該粗利益率算出時の営業費用は、クレジット獲得のために直接発生した費用（金利、保証料、人件費、地代家賃等）となります。  
 3. 顧客手数料から各種手数料を差し引いた一括粗利益を、取扱高で割ったもの。提携ローンのみを対象とした指標となります。（利上げ効果明示のための一時的な記載）



- 01 決算ハイライト
- 02 決算概要
- 03 ファイナンス事業
- 04 故障保証事業**
- 05 オートモビリティサービス事業
- 06 カープレミアクラブ
- 07 その他進捗
- 08 Appendix

- 中古車登録台数が前年並みで推移する中、故障保証取扱高は前年比+18.7%、累計契約台数200万台を突破し高成長を維持
- プロパー保証は前年比+44.4%と高い成長率を維持。OEM保証は加盟店毎の商品設定の見直しが奏功し、成長基調

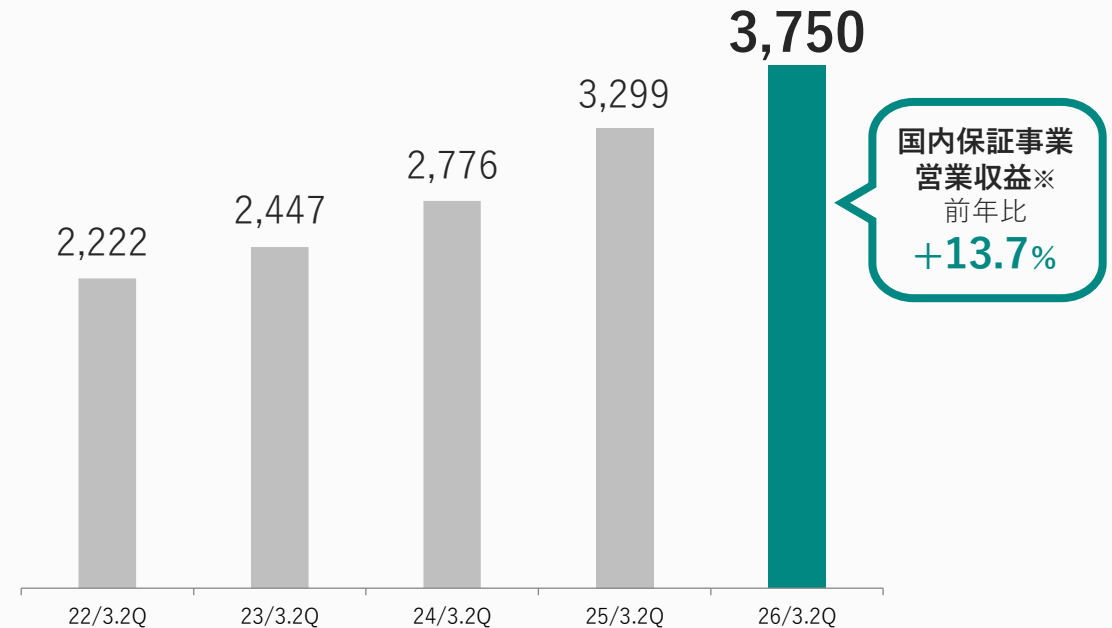


(注) 1. 故障保証取扱高とは、その期間で新たに締結した保証契約金額の総額です。  
 2. 棒グラフの下段はプロパー保証商品、上段はOEM保証商品を表しております。  
 3. 2024年3月期の故障保証取扱高は集計方法の変更に伴い、一部遡及修正しております。

- 営業収益は2桁成長と順調に推移
- 猛暑の影響により保証修理件数が増加も、継続した**原価低減**の取り組みにより営業利益率は引き続き上昇  
また、**営業費用の抑制**が利益率向上に寄与した結果、税引前利益は前年比**+31.5%**

	25/3.2Q	26/3.2Q	前年比
営業収益	3,398	3,860	+13.6%
営業利益	475	599	+26.0%
税引前利益	522	686	+31.5%

2Q国内保証事業営業収益



(※) 国内保証事業営業収益は、海外の実績を除いております。



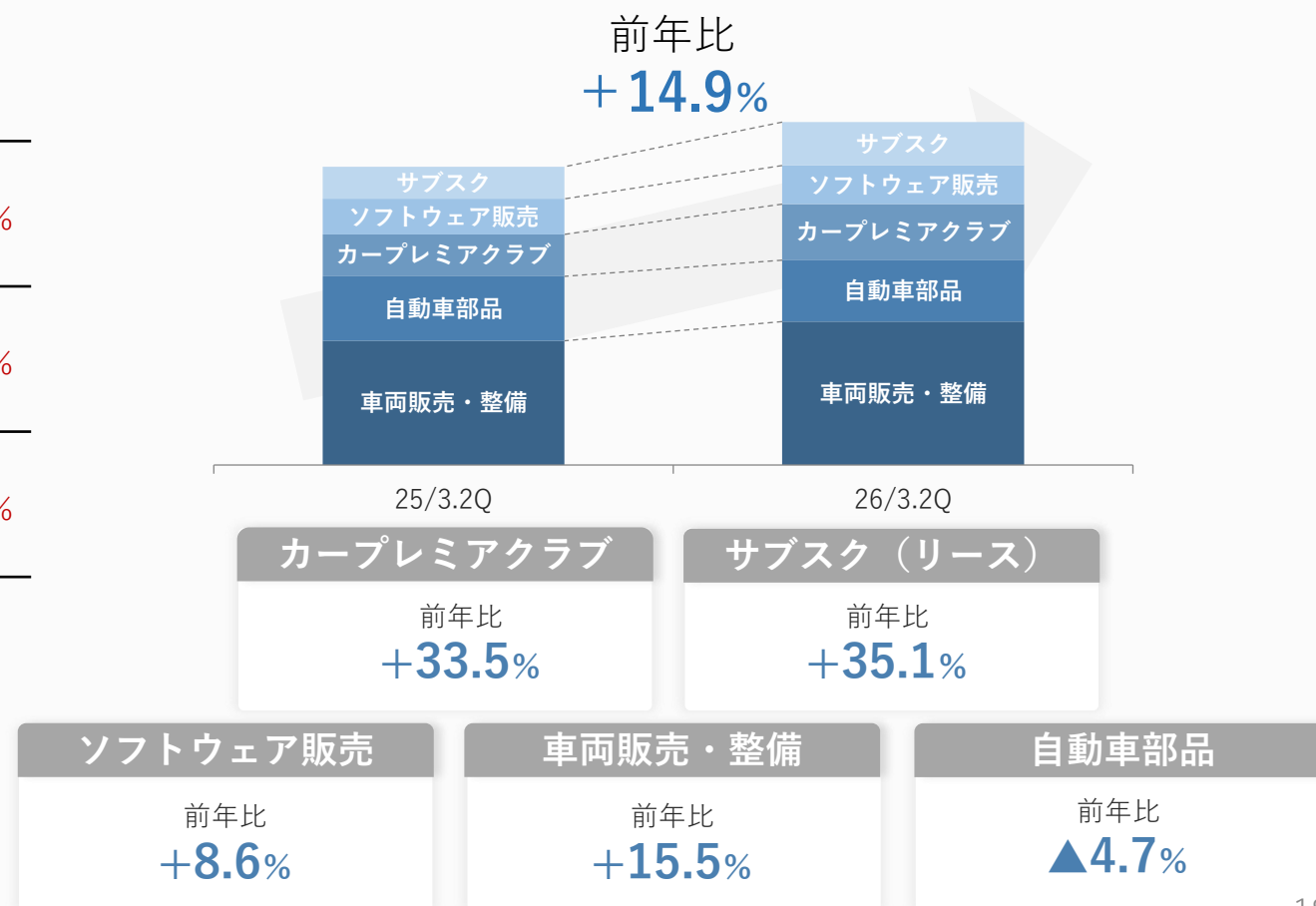


- 01 決算ハイライト
- 02 決算概要
- 03 ファイナンス事業
- 04 故障保証事業
- 05 オートモビリティサービス事業**
- 06 カープレミアクラブ
- 07 その他進捗
- 08 Appendix

- 主要事業の業績が順調に伸長し、**税引前利益**は前年比**+46.1%**と好調
- **カープレミアクラブ**及び**サブスク（リース）**は引き続き順調に推移し、**安定した営業収益**を確保
- ソフトウェア販売は受注と納品の**タイムラグ解消**により、営業収益、営業利益ともに改善
- 車両販売は在庫回転率の改善とプライシングの徹底により、台あたりの粗利益が回復

	25/3.2Q	26/3.2Q	前年比
営業収益	4,441	5,104	+14.9%
営業利益	582	839	+44.1%
税引前利益	574	839	+46.1%

オートモビリティサービス事業 営業収益



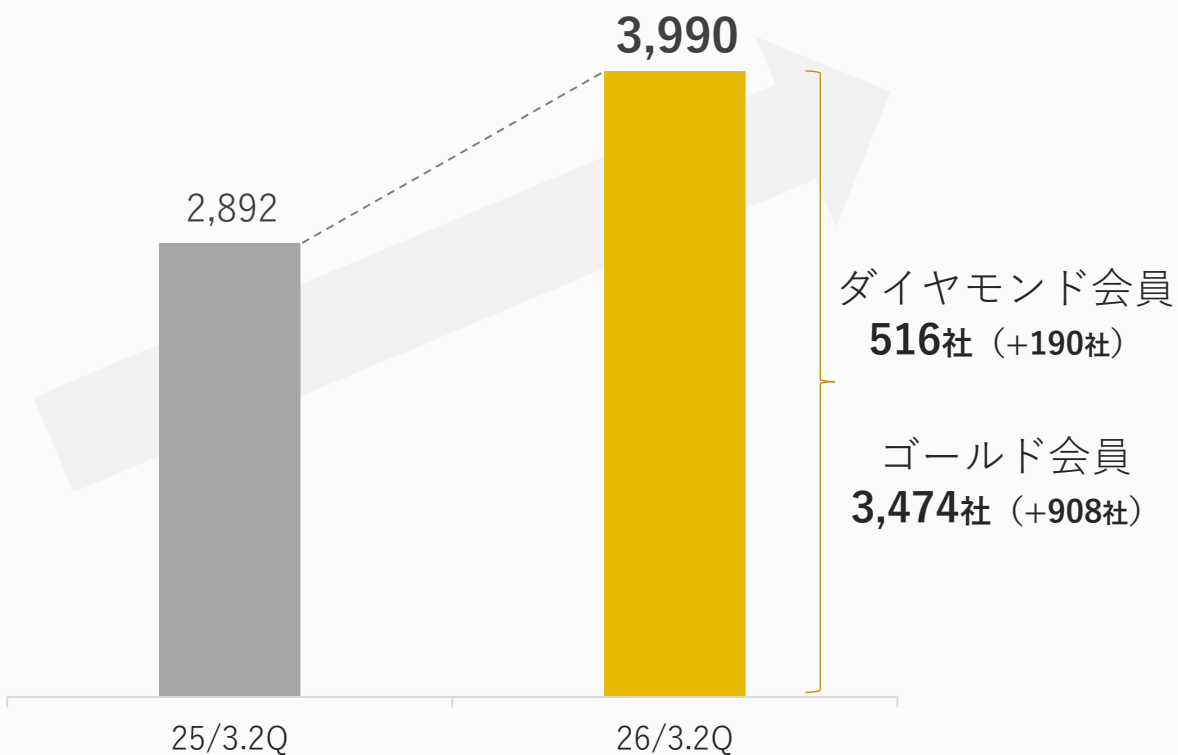


- 01 決算ハイライト
- 02 決算概要
- 03 ファイナンス事業
- 04 故障保証事業
- 05 オートモビリティサービス事業
- 06 **カープレミアクラブ**
- 07 その他進捗
- 08 Appendix

- カープレミアディーラーは、**ダイヤモンド会員**が前年比**+190社**、**ゴールド会員**が前年比**+908社**と高成長
- カープレミアガレージは、会員獲得数増加に向け、充実した商品ラインアップの展開準備を進行中

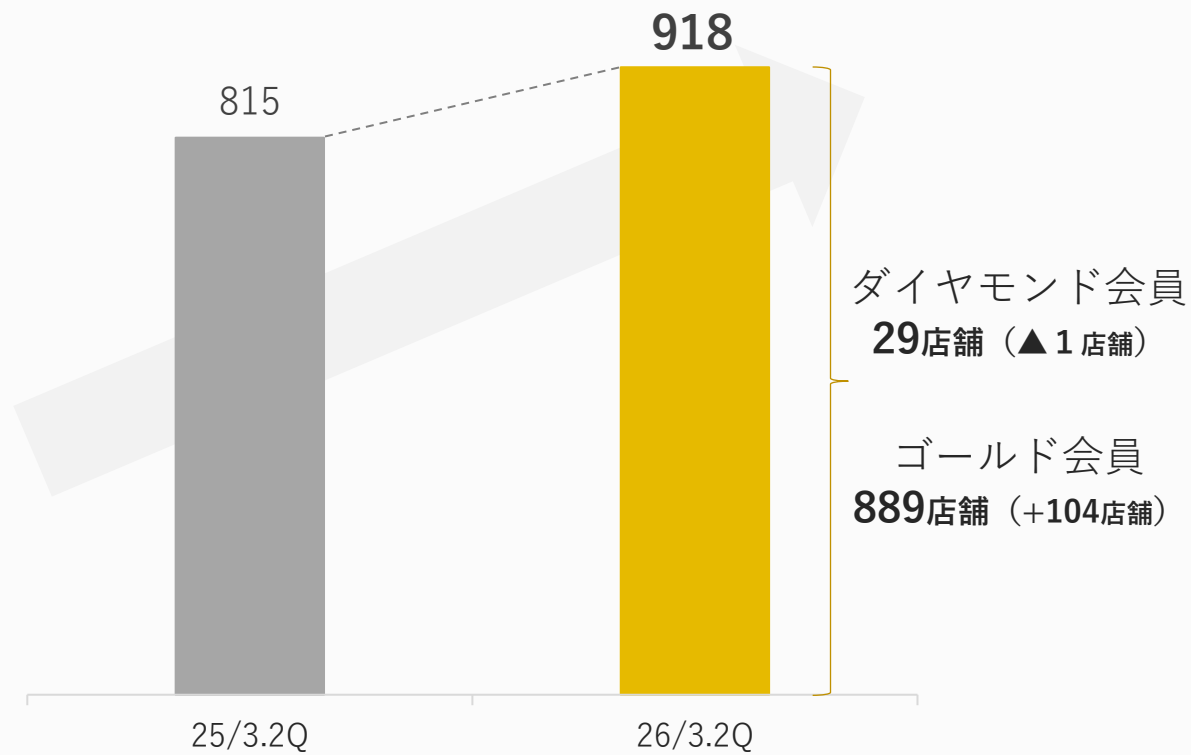
## カープレミアディーラー (自動車販売店)

前年比 **+1,098社**



## カープレミアガレージ (自動車整備工場)

前年比 **+103店舗**





- 01 決算ハイライト
- 02 決算概要
- 03 ファイナンス事業
- 04 故障保証事業
- 05 オートモビリティサービス事業
- 06 カープレミアクラブ
- 07 **その他進捗**
- 08 Appendix

## 次期中期経営計画について

- ✓ **モビリティ×ファイナンス×IT**を軸とした成長戦略を推進
- ✓ 税引前利益の**年平均成長率（CAGR）は20%～30%**を目指す
- ✓ 2027年3月期～2030年3月期の**4ヵ年**にて**策定**予定
- ✓ **発表は当期本決算**のタイミングを予定

## 損害賠償請求について

- ✓ 今回のシステム障害の**根本原因**は、基幹システム更改に際し起用した**外部ベンダー2社**による、**プログラム上の不具合**をはじめとする業務遂行上の諸般の問題に起因するものと認識
- ✓ 本システム障害の責任を追及するため、外部ベンダーに対し、**契約違反及び不法行為**により生じた損害について、**損害賠償請求**を実施

## トピックス



### 株式会社バイク王&カンパニーと 合併契約を締結

- バイク王の持つブランド力や店舗運営の知見と、当社の会員事業のノウハウを融合し、「**次世代のビジネスモデル**」の**開発・検証**を実施

▶リリースは[こちら](#)



### 伊藤忠商事株式会社との 事業展開について

- 2025年8月8日、資本業務提携を発表以降、両社の強みを融合したシナジー最大化に向け**専門チームを組成**
- 事業戦略、海外展開を中心とした協業可能性の洗い出しと検討を**開始**

▶リリースは[こちら](#)



### 「統合報告書2025（日・英）」 を発行

- 「統合報告書2025」を**2025年11月10日**に開示（**英文も同時開示**）
- 中長期のビジョンへの取り組みに対する記載を拡充

▶リリースは[こちら](#)



- 01 決算ハイライト
- 02 決算概要
- 03 ファイナンス事業
- 04 故障保証事業
- 05 オートモビリティサービス事業
- 06 カープレミアクラブ
- 07 その他進捗
- 08 Appendix**

社名	プレミアグループ株式会社
証券コード / 市場	7199 / 東京証券取引所市場プライム市場
設立	2015年5月25日 ※2007年 プレミア株式会社設立（旧社名：株式会社ジー・ワンクレジットサービス）
本社	東京都港区虎ノ門2-10-4 オークラプレステージタワー
代表取締役社長	柴田 洋一
発行済株式数	40,675,902株 2025年9月末時点
資本金	1,794百万円 単体 / 2025年9月末時点
従業員数	850名 連結 / 2025年9月末時点 (※)臨時雇用者を除くグループ従業員数
グループ内容	国内及び海外※における各事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイナンス事業</li> <li>・故障保証事業</li> <li>・オートモビリティサービス事業</li> <li>・カープレミア(自動車販売店、自動車整備工場の会員組織構築)</li> </ul> ※海外 (タイ王国、インドネシア共和国、フィリピン共和国等)



# 事業内容

- プレミアグループは、自動車販売店や自動車整備工場の皆さまと一緒にお客様に豊かなカーライフを届けるオートモビリティ企業です

## 事業セグメント

### ファイナンス事業

#### 主な事業

- ・オートクレジット
- ・エコロジッククレジット
- ・ショッピングクレジット
- ・サービサー

#### 主な取引先

- ・自動車販売店

### 故障保証事業

#### 主な事業

- ・自動車の故障保証事業
- ・故障保証事業の海外展開  
(タイ、インドネシア、フィリピン)

#### 主な取引先

- ・自動車販売店、自動車整備工場

### オートモビリティサービス事業

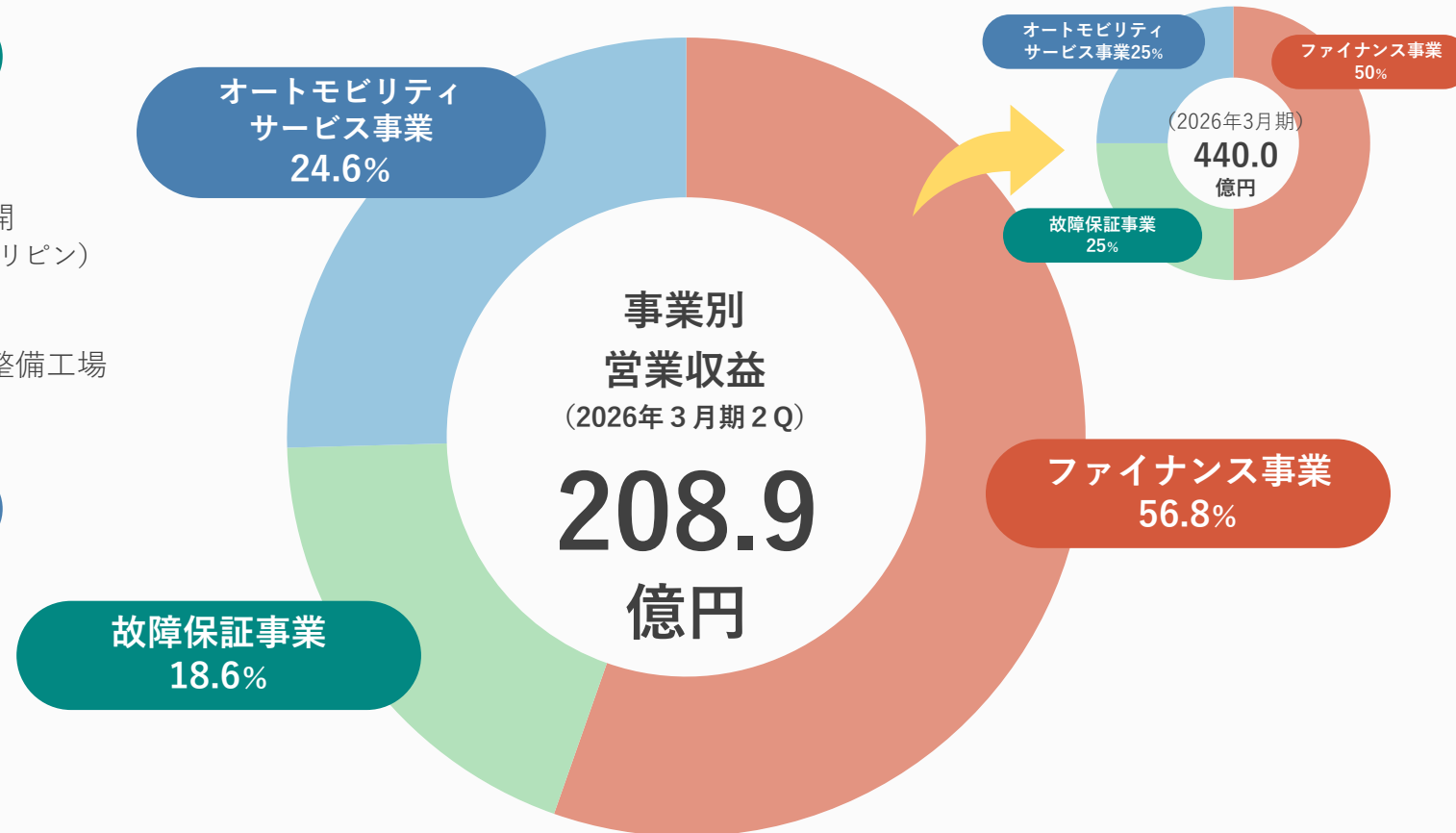
#### 主な事業

- ・会員組織「カープレミアクラブ」の運営
- ・車両卸販売
- ・業務用ソフトウェア販売
- ・オートリース
- ・自動車整備工場の運営
- ・国内外への中古パーツ販売

#### 主な取引先

- ・自動車販売店、自動車整備工場

## セグメント別ポートフォリオ



# セグメント別業績一覧

(単位：百万円)



2026年3月期2Q

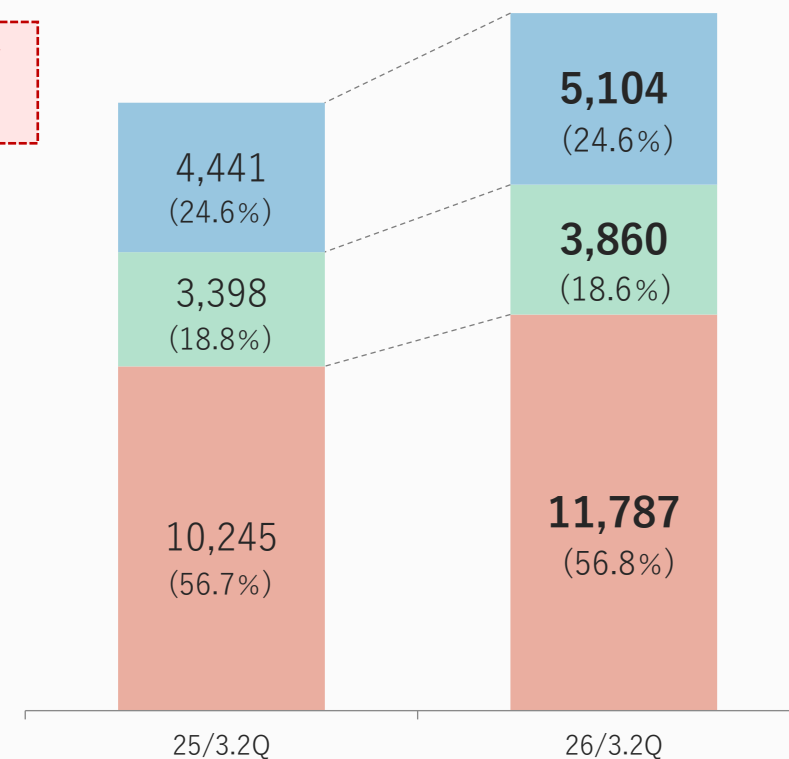
営業収益      営業利益      税引前利益

	営業収益	営業利益	税引前利益
ファイナンス事業	11,787 前年比 +15.0%	1,998 前年比 ▲33.9%	1,967 前年比 ▲34.7%
故障保証事業	3,860 前年比 +13.6%	599 前年比 +26.0%	686 前年比 +31.5%
オートモビリティサービス事業	5,104 前年比 +14.9%	839 前年比 +44.1%	839 前年比 +46.1%

一過性費用を除く  
[3,068]  
前年比+1.9%

営業収益

■ ファイナンス ■ 故障保証 ■ オートモビリティサービス



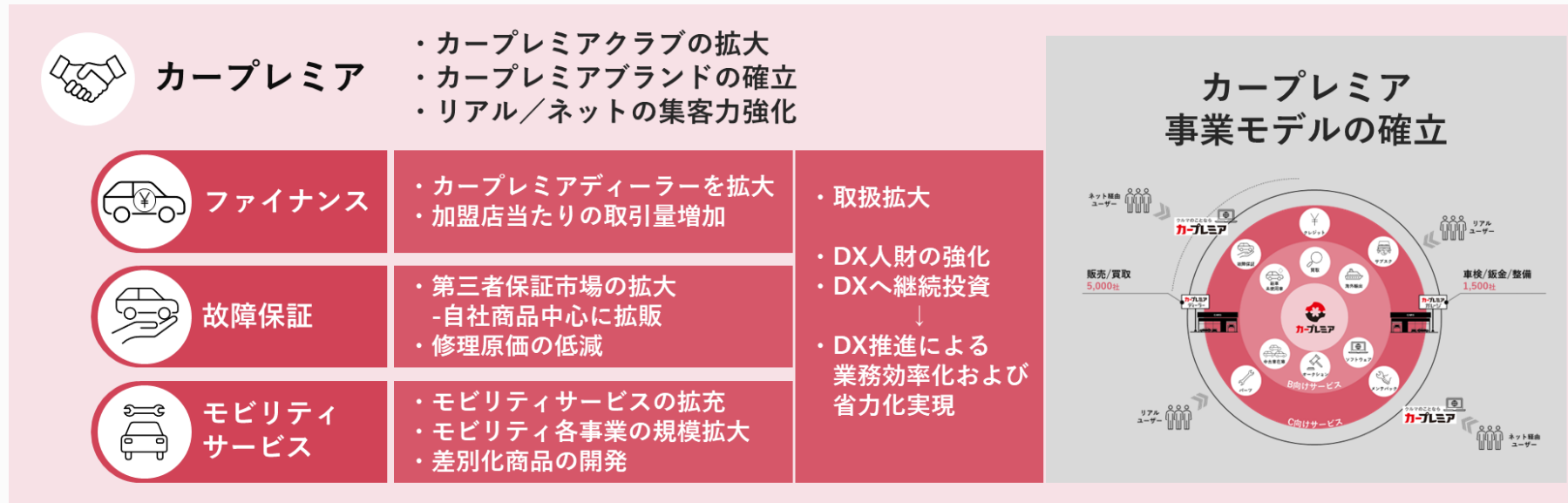
## 中期ビジョン

ONE & ONLYのオートモビリティ企業を目指して、  
**カープレミア事業モデルの確立**

数値目標（2026年3月期）

営業収益	税引前利益	当期利益	ROE	時価総額
<b>440億円</b> 23/3比 +74.6%	<b>102億円</b> 23/3比 +91.0%	<b>70億円</b> 23/3比 +75.0%	<b>30%台</b> 23/3実績 34.7%	<b>1,400~1,750億円</b> 23/3比 204~255%

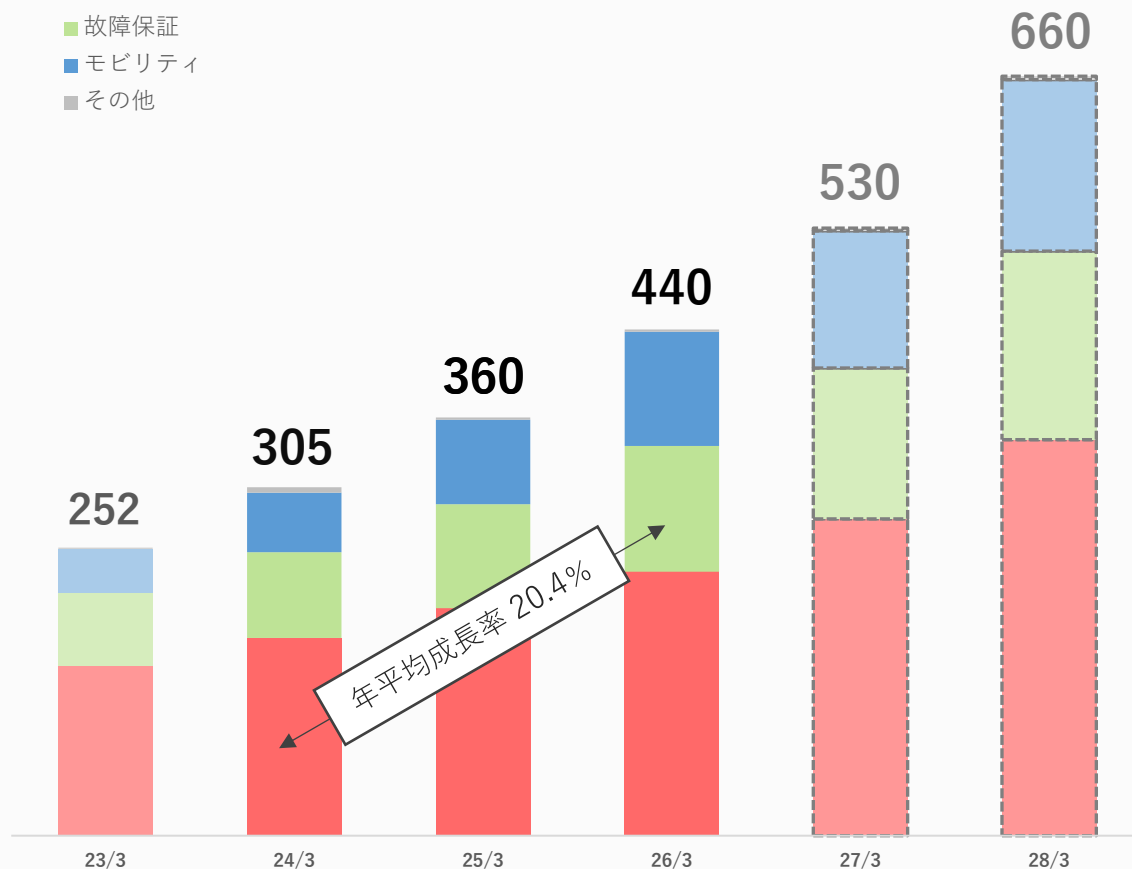
## 重要課題



## 営業収益

(億円)

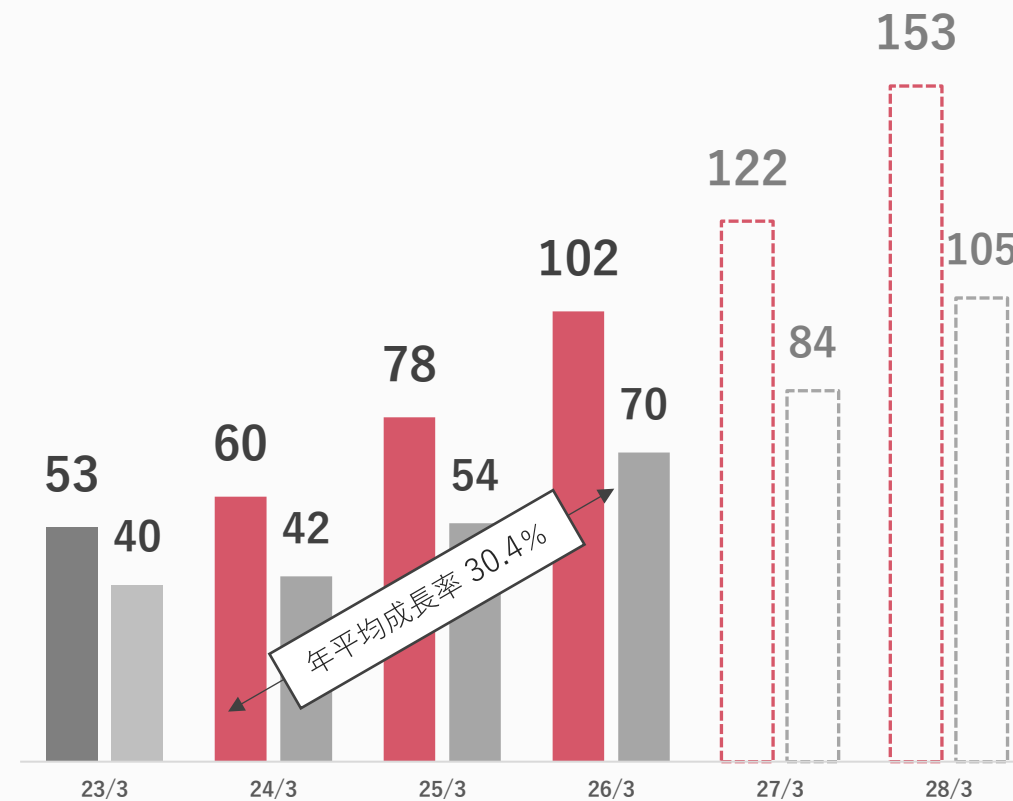
- ファイナンス
- 故障保証
- モビリティ
- その他



## 税引前利益 / 当期利益

(億円)

- 税引前利益
- 親会社の所有者に帰属する当期利益



# (24/3 3Q)カーププレミアあんしんショップ制度をリリース



- お客様が安心して商品やサービスを受けられる制度「カーププレミアあんしんショップ」を2024年1月29日より開始

## カーププレミアあんしんショップとは

全てのお客様がお取引内容を理解・納得いただけるよう「あんしん宣言」を掲げサービス提供するお店

- ✓ 当社の基準をクリア
- ✓ あんしん宣言／規約同意
- ✓ カーププレミア点検の実施

**カーププレミア**  
**あんしんショップ**

- ✓ あんしんサービスの提供
- ✓ カーププレミアサイトで上位表示

**カーププレミアクラブ**

ダイヤモンド会員

**カーププレミアクラブ**

ゴールド会員

## あんしん宣言・サービス内容



**車両購入のあんしん宣言**



**車両整備のあんしん宣言**



購入・作業内容を十分理解し、納得できるよう正確で詳細な説明を実施します



透明性のある作業実施の為に内容及び費用を記載した書面を提供します



安心して乗れるようカーププレミアで点検を実施し、納車します

車両購入後14日以内の不具合修理をカーププレミアが最大**30**万円までお支払い

車両整備後14日以内の不具合修理をカーププレミアが最大**30**万円までお支払い

カープレミアディーラー  
オートクレジット割合※1

前年比  
+23.5ポイント

65.4%

有料会員の増加による  
堅調な増加推移を維持

営業人員数

前年比  
▲3名

96名

・ 継続して営業人員PH※2の  
増加に注力  
(仕組化や営業活動の効率化)

AI審査判定率

前年比  
▲0.9ポイント

37.3%

審査の精度をさらに向上させ  
審査時間の削減や判定の標準化を促進

(※) 1. 当社取扱のオートクレジット取扱高のうち、自動車販売店向け会員組織「カープレミアディーラー」が占める割合です。

2. PH（パーヘッド）とはオート営業1人あたりのオート月間取扱高平均です。2026年3月期第2四半期は、システム障害に起因する債権回収業務の強化に伴う営業リソースの低下により、PHが減少しております。

	25/3 (2025年3月31日)	26/3.1Q (2025年6月30日)	26/3.2Q (2025年9月30日)	前期末比	前Q比
資産の部					
現金及び現金同等物	17,159	22,989	24,160	+40.8%	+5.1%
金融債権	74,719	77,542	78,990	+5.7%	+1.9%
その他の金融資産	8,366	8,434	8,813	+5.3%	+4.5%
有形固定資産	5,396	5,389	5,064	△6.2%	△6.0%
無形資産	9,201	9,071	8,933	△2.9%	△1.5%
のれん	3,958	3,958	3,958	+0.0%	+0.0%
持分法投資	4,085	4,159	4,427	+8.4%	+6.4%
繰延税金資産	50	121	196	+289.8%	+61.8%
保険資産	42,130	47,540	39,925	△5.2%	△16.0%
その他の資産	19,924	17,342	14,478	△27.3%	△16.5%
資産合計	184,988	196,545	188,943	+2.1%	△3.9%
負債の部					
金融保証契約	81,245	77,128	63,515	△21.8%	△17.6%
故障保証前受収益	8,055	8,451	8,822	+9.5%	+4.4%
借入金	51,188	70,495	70,781	+38.3%	+0.4%
その他の金融負債	16,686	13,320	14,565	△12.7%	+9.3%
引当金	436	524	495	+13.4%	△5.6%
未払法人所得税	1,821	290	947	△48.0%	+226.2%
繰延税金負債	836	1,114	1,270	+51.9%	+13.9%
その他の負債	5,773	5,764	5,656	△2.0%	△1.9%
負債合計	166,039	177,086	166,051	+0.0%	△6.2%
資本の部					
親会社の所有者に帰属する持分					
資本金	1,700	1,700	1,794	+5.5%	+5.5%
資本剰余金	1,585	1,610	2,540	+60.2%	+57.7%
利益剰余金	17,949	18,403	19,778	+10.2%	+7.5%
自己株式	△ 3,046	△ 3,043	△ 2,052	△32.6%	△32.6%
その他の資本の構成要素	734	769	812	+10.6%	+5.6%
親会社の所有者に帰属する持分合計	18,923	19,440	22,871	+20.9%	+17.7%
非支配持分	26	20	21	△18.3%	+4.4%
資本合計	18,948	19,460	22,892	+20.8%	+17.6%
負債及び資本合計	184,988	196,545	188,943	+2.1%	△3.9%

# PL (連結累計期間)

(単位：百万円)



連結累計期間	25/3.1Q~2Q (2024年4月1日~ 2024年9月30日)	26/3.1Q~2Q (2025年4月1日~ 2025年9月30日)	前年同期比
営業収益	18,092	20,888	+15.5%
営業費用	14,042	17,331	+23.4%
営業利益	4,050	3,556	△12.2%
持分法による投資利益	42	78	+87.9%
その他の金融収益	33	132	+307.5%
その他の金融費用	48	36	△25.0%
税引前当期（四半期）利益	4,076	3,730	△8.5%
法人所得税費用	1,304	1,139	△12.7%
当期（四半期）利益	2,772	2,592	△6.5%
当期利益の所属			
親会社の所有者に帰属する利益	2,771	2,589	△6.6%
非支配持分に帰属する利益	1	3	+260.4%



# PL (連結累計期間／営業収益・営業費用)

(単位：百万円)



連結累計期間	25/3.1Q~2Q (2024年4月1日～ 2024年9月30日)	26/3.1Q~2Q (2025年4月1日～ 2025年9月30日)	前年同期比
営業収益			
金融収益	8,488	9,887	+16.5%
故障保証収益	3,346	3,811	+13.9%
オートモビリティ関連売上	2,966	3,529	+19.0%
その他手数料売上	1,485	1,434	△3.4%
部品売上	957	913	△4.6%
金融資産の減損利得	459	771	+67.9%
保険履行収益	164	255	+55.3%
その他	227	288	+26.5%
合計	18,092	20,888	+15.5%

連結累計期間	25/3.1Q~2Q (2024年4月1日～ 2024年9月30日)	26/3.1Q~2Q (2025年4月1日～ 2025年9月30日)	前年同期比
営業費用			
金融費用	229	467	+104.1%
故障保証原価	1,930	2,167	+12.3%
オートモビリティ関連原価	1,583	1,934	+22.2%
支払保証料	1,868	2,311	+23.7%
部品原価	746	682	△8.6%
従業員給付費用	3,220	3,620	+12.4%
減価償却費及び償却費	869	1,076	+23.9%
支払手数料	703	788	+12.1%
租税公課	510	701	+37.5%
システム運営費	501	1,206	+140.8%
業務委託料	429	713	+66.0%
その他営業費用	1,455	1,667	+14.5%
合計	14,042	17,331	+23.4%

# PL (連結会計期間)

(単位：百万円)



連結会計期間	25/3.2Q (2024年7月1日～ 2024年9月30日)	26/3.1Q (2025年4月1日～ 2025年6月30日)	26/3.2Q (2025年7月1日～ 2025年9月30日)	前年同期比	前Q比
営業収益	9,418	10,296	10,592	+12.5%	+2.9%
営業費用	7,190	8,711	8,620	+19.9%	△1.0%
営業利益	2,228	1,585	1,971	△11.5%	+24.4%
持分法による投資利益	24	29	49	+103.0%	+73.3%
その他の金融収益	△12	108	25	△302.7%	△77.2%
その他の金融費用	40	14	23	△44.2%	+64.0%
税引前当期（四半期）利益	2,200	1,707	2,023	△8.0%	+18.5%
法人所得税費用	704	491	647	△8.0%	+31.7%
当期（四半期）利益	1,496	1,216	1,376	△8.0%	+13.1%
当期利益の所属					
親会社の所有者に帰属する利益	1,497	1,214	1,375	△8.2%	+13.2%
非支配持分に帰属する利益	△2	2	1	△153.1%	△53.4%

# PL (連結会計期間／営業収益・営業費用)

(単位：百万円)



連結会計期間	25/3.2Q (2024年7月1日～ 2024年9月30日)	26/3.1Q (2025年4月1日～ 2025年6月30日)	26/3.2Q (2025年7月1日～ 2025年9月30日)	前年同期比	前Q比
営業収益					
金融収益	4,342	5,020	4,867	+12.1%	△3.0%
故障保証収益	1,700	1,864	1,946	+14.5%	+4.4%
オートモビリティ関連売上	1,473	1,724	1,805	+22.5%	+4.7%
その他手数料売上	760	705	729	△4.0%	+3.4%
部品売上	510	442	472	△7.4%	+6.9%
金融資産の減損利得	312	322	448	+43.8%	+39.0%
保険履行収益	164	-	255	+55.3%	-
その他	157	219	69	△56.1%	△68.4%
合計	9,418	10,296	10,592	+12.5%	+2.9%

連結会計期間	25/3.2Q (2024年7月1日～ 2024年9月30日)	26/3.1Q (2025年4月1日～ 2025年6月30日)	26/3.2Q (2025年7月1日～ 2025年9月30日)	前年同期比	前Q比
営業費用					
金融費用	117	229	238	+102.4%	+3.6%
故障保証原価	1,044	977	1,190	+13.9%	+21.8%
オートモビリティ関連原価	766	1,020	914	+19.3%	△10.4%
支払保証料	960	1,153	1,158	+20.7%	+0.4%
部品原価	406	328	354	△12.8%	+8.0%
従業員給付費用	1,625	1,796	1,824	+12.2%	+1.5%
減価償却費及び償却費	416	534	542	+30.3%	+1.5%
支払手数料	360	358	430	+19.3%	+20.2%
租税公課	252	357	343	+36.2%	△3.9%
システム運営費	257	663	542	+110.6%	△18.3%
業務委託料	228	357	356	+56.3%	△0.4%
その他営業費用	757	937	729	△3.7%	△22.2%
合計	7,190	8,711	8,620	+19.9%	△1.0%



本資料に掲載されているIR情報は、プレミアグループ株式会社及び関係会社（以下当社）の財務情報、経営情報等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。本資料に掲載されている当社の計画や戦略、業績の見通し等は、将来の予測等に関する情報を含む場合があります。これらの情報は現在入手可能な情報に基づくものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があり、当社は本資料の情報を使用したことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。本資料に情報を掲載する際には、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、当社は事由の如何を問わず一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。本資料に含まれる著作物は、著作権法により保護されており、それらを無断で複製、改編、翻訳、頒布、実演または展示することは禁止されております。本資料への情報の掲載は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定はご自身のご判断で行うようお願いいたします。